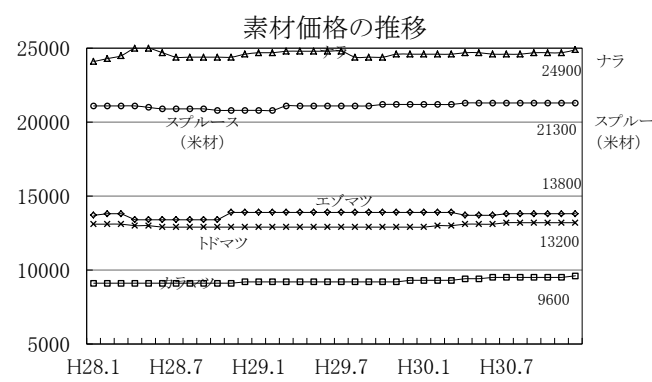
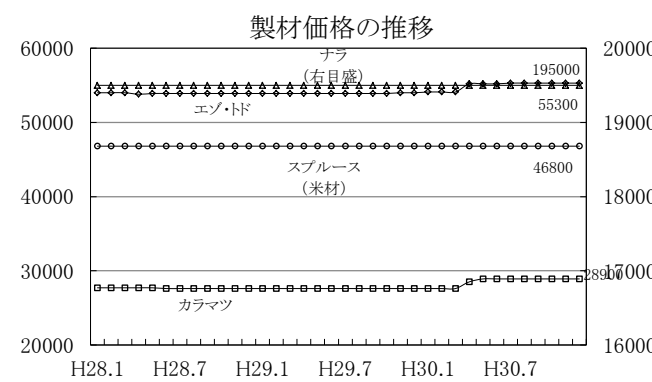
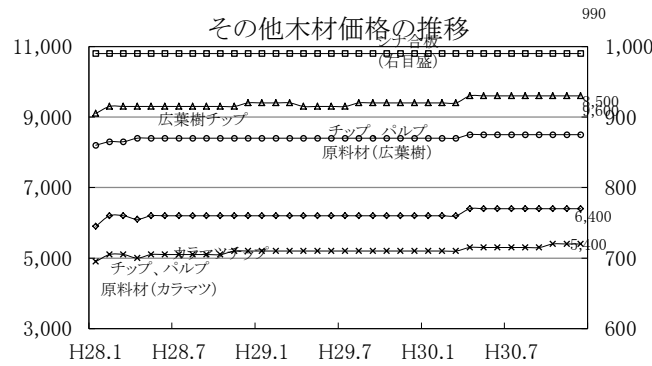


## 道内の木材市況概況(平成30年12月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差	市況の動向	
素材	エゾマツ	径30～38cm 長3.65m 品等3等	工場着	13,800	0	(道産材) ・エゾ・トド原木は、一部地域で出材が少なく苦慮しているが、在庫の不足感は解消されつつある。市況は保合。 ・カラマツ原木は、不足感は依然として解消されておらず、一部地域では値上げ基調となっている。市況は保合～強保合。 ・広葉樹原木の市況は、樹種によって保合～強保合となっている。 (外国産材) ・米材丸太の11月の輸入量は3千m <sup>3</sup> (前月0千m <sup>3</sup> ・前年同月0千m <sup>3</sup> )。11月末港頭在荷量は5千m <sup>3</sup> (前月比120%・前年同月比74%)。	
	トドマツ	径30～38cm 長3.65m 品等3等	工場着	13,200	0		
	カラマツ	径14～18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,600	100		
	ナラ	径30～38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	24,900	200		
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	21,300	0		
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	55,300	0	(道産材) ・エゾ・トド製材の荷動きは例年に比べやや鈍く、今後の値上げについて検討する工場が出てきている。市況は保合。 ・カラマツ製材は、先月と変わらず、梱包・パレットは注文が順調に入っている一方で、集成材ラミナの荷動きがやや低調となっている。市況は保合。 (住宅着工戸数) ・11月の新設住宅着工戸数は前年同月比92%。 (外国産材) ・米材製材の11月の輸入量は0千m <sup>3</sup> で前月比45%、前年同月比35%。11月末港頭在荷量6千m <sup>3</sup> で前月比92%、前年同月比73%。	
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	28,900	0		
	ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	195,000	0		
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込	港頭オントラ	46,800	0		
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	990	0	市況は保合。	
チップ、パルプ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	5,400	0	・チップ原料材は保合、パルプ原料材は保合。 ・チップは保合。	
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,500	0		
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	6,400	0		
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	9,600	0		

注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。

注2 価格欄の「-」は、当該調査月に当該調査品目の取引がなかったことを示す。

注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。